ポートおよびポート チャネルの設定

この章の内容は、次のとおりです。

- Cisco UCS 6324 ファブリック インターコネクト のユニファイド ポート，2 ページ
- サーバ ポート，7 ページ
- アップリンク イーサネット ポート，7 ページ
- ファブリック インターコネクトのポートの再設定，9 ページ
- ファブリック インターコネクトのポートのイネーブル化またはディセーブル化，9 ページ
- ファブリック インターコネクトのポート設定解除，10 ページ
- アプライアンス ポート，10 ページ
- FCoE およびファイバ チャネル ストレージ ポート，13 ページ
- FCoE アップリンク ポート，14 ページ
- ユニファイド アップリンク ポート，15 ページ
- アップリンク イーサネット ポート チャネル，17 ページ
- アプライアンス ポート チャネル，20 ページ
- ファイバ チャネル ポート チャネル，22 ページ
- FCoE ポート チャネル，26 ページ
- ユニファイド アップリンク ポート チャネル，27 ページ
- アダプタ ポート チャネル，28 ページ
- Internal Fabric Manager を使用したサーバ ポートの設定，28 ページ

Cisco UCS 6324 ファブリック インターコネクトのユニファイド ポート

ユニファイド ポートは Cisco UCS 6324 ファブリック インターコネクト 上のポートであり、イーサネットまたはファイバ チャネル トラフィックを伝送するように設定できます。 これらのポートは予約されていません。 設定するまで、Cisco UCS ドメインではそれらのポートを使用できません。

（注） ファブリック インターコネクトのポートを設定すると、管理状態が自動的にイネーブルに設定されます。 ポートが他のデバイスに接続されている場合は、これによってトラフィックが中断されることがあります。 ポートは設定後にディセーブルにできます。

設定可能なビーコン LED は、選択したポート モードに設定されているユニファイド ポートを示します。

ポート モード

ポートモードは、ファブリックインターコネクト上の統合ポートが、イーサネットまたはファイバ チャネル トラフィックを転送するかどうかを決定します。 ポート モードは、ファブリック インターコネクトによって自動的に検出されません。これは Cisco UCS Manager で設定されます。

ポート モードを変更すると、既存のポート設定が削除され、新しい論理ポートに置き換えられます。 VLAN や VSAN など、そのポートの設定に関連付けられているオブジェクトはすべて削除されます。 ユニファイド ポートのポート モードを変更できる回数に制限はありません。

ポート タイプ

ポート タイプは、統合ポート接続経由で転送されるトラフィックのタイプを定義します。

イーサネット ポート モードに変更された統合ポートは、デフォルトでアップリンク イーサネット ポート タイプに設定されます。 ファイバ チャネル ポート モードに変更された統合ポートは、ファイバ チャネル アップリンク ポート タイプに設定されます。 ファイバ チャネル ポートの設定を解除することはできません。

ポート タイプ変更時のリブートは不要です。

ポート モードがイーサネットに設定されたときには、次のポート タイプを設定できます。

- サーバ ポート
- イーサネット アップリンク ポート
- イーサネット ポート チャネル メンバ
- FCoE ポート

- アプライアンス ポート
- アプライアンス ポート チャネル メンバ
- SPAN 宛先ポート
- SPAN 送信元ポート

（注） SPAN 送信元ポートは、ポート タイプのいずれかを設定してから、そのポートを SPAN 送信元として設定します。

ポート モードがファイバ チャネルに設定されたときには、次のポート タイプを設定できます。

- ファイバ チャネル アップリンク ポート
- ファイバ チャネル ポート チャネル メンバ
- ファイバ チャネル ストレージ ポート
- FCoE アップリンク ポート
- SPAN 送信元ポート

（注） SPAN 送信元ポートは、ポート タイプのいずれかを設定してから、そのポートを SPAN 送信元として設定します。

Cisco UCS Mini スケーラビリティ ポート

Cisco UCS 6324 ファブリック インターコネクト には 4 つのユニファイド ポートに加えて、1 つのスケーラビリティ ポートがあります。 スケーラビリティ ポートは 40GB QSFP+ ブレークアウト ポートで、適切な配線を使って 4 つの 1 G または 10G SFP+ ポートをサポートできます。 スケーラビリティ ポートは、サポート対象の Cisco UCS ラック サーバ、アプライアンス ポート、または FCoE ポート用のライセンス サーバ ポートとして使用できます。

Cisco UCS Manager GUI では、スケーラビリティ ポートは、[Ethernet Ports] ノードの下に [Scalability Port 5] と表示されます。 個々のブレークアウト ポートは、[Port 1] ～ [Port 4] と表示されます。

Cisco UCS Manager CLI では、スケーラビリティ ポートは表示されませんが、個々のブレークアウト ポートは [Br-Eth1/5/1] ～ [Br-Eth1/5/4] と表示されます。

スケーラビリティ ポートの設定

サポートされている任意のタイプのポートまたはスケーラビリティ ポートのポート メンバーを設定するには、[Ethernet Ports] モードを展開し、それから、[Scalability Port 5] ノードを展開します。

手順

ステップ 1 [Navigation] ペインの [Equipment] タブをクリックします。

ステップ 2 [Equipment] タブで、[Fabric Interconnects] > [*Fabric_Interconnect_Name*] > [Fixed Module] > [Ethernet Ports] > [Scalability Port 5] を展開します。

ステップ 3 [Scalability Port 5] ノード下のポートをクリックします。

ステップ 4 必要に応じて、ポートを設定します。

ユニファイド ポートの設定に関するガイドライン

ユニファイド ポートを設定する際は、次のガイドラインおよび制約事項を考慮してください。

ポート モードの設定

Cisco UCS Manager GUI インターフェイスは、スライダを使用してユニファイド ポートのポートモードを設定するので、ユニファイドポートへのポートモードの割り当て方法を制限する次の制約事項が自動的に適用されます。 Cisco UCS Manager CLI インターフェイスを使用する場合は、トランザクションをシステム設定にコミットするときに次の制約事項が適用されます。 ポートモードの設定が次の制約事項のいずれかに違反している場合、Cisco UCS Manager CLI によってエラーが表示されます。

- イーサネット ポートがブロックにグループ化されていること。
- ファイバ チャネル ポートがブロックにグループ化されていること。
- イーサネット ポートとファイバ チャネル ポートの交替は、サポートされない。

ユニファイドアップリンクポートおよびユニファイドストレージポートに関する注意およびガイドライン

以下は、ユニファイド アップリンク ポートとユニファイド ストレージ ポートを使用する際に従うべき注意事項とガイドラインです。

- ユニファイド アップリンク ポートでは、SPAN 送信元として 1 つのコンポーネントを有効にすると、他のコンポーネントが自動的に SPAN 送信元になります。

（注） イーサネット アップリンク ポートで SPAN 送信元を作成または削除すると、Cisco UCS Manager は FCoE アップリンク ポートで自動的に SPAN 送信元を作成または削除します。 FCoE アップリンク ポートで SPAN 送信元を作成する場合も同じことが起こります。

- FCoE およびユニファイド アップリンク ポートでデフォルトでないネイティブ VLAN を設定する必要があります。 この VLAN は、トラフィックには使用されません。 Cisco UCS Manager はこの目的のために、既存の fcoe-storage-native-vlan を再利用します。 この fcoe-storage-native-vlan は、FCoE およびユニファイド アップリンクでネイティブ VLAN として使用されます。
- ユニファイド アップリンク ポートでは、イーサネット アップリンク ポートにデフォルトでない VLAN を設定しないと、fcoe-storage-native-vlan がユニファイド アップリンク ポートのネイティブ VLAN として割り当てられます。 イーサネット ポートにネイティブ VLAN として指定されているデフォルトでないネイティブ VLAN がある場合、ユニファイド アップリンク ポートのネイティブ VLAN としてこれが割り当てられます。
- イーサネット ポート チャネル下でメンバ ポートを作成または削除すると、Cisco UCS Manager は FCoE ポート チャネル下で自動的にメンバ ポートを作成または削除します。 FCoE ポート チャネルでメンバ ポートを作成または削除する場合も同じことが起こります。
- サーバ ポート、イーサネット アップリンク、FCoE アップリンクまたは FCoE ストレージなどのスタンドアロン ポートとしてイーサネット ポートを設定し、それをイーサネットまたは FCOE ポート チャネルのメンバ ポートにすると、Cisco UCS Manager は自動的にこのポートをイーサネットと FCoE ポート チャネル両方のメンバにします。
- サーバアップリンク、イーサネットアップリンク、FCoEアップリンクまたはFCoEストレージのメンバからメンバ ポートのメンバーシップを削除すると、Cisco UCS Manager はイーサネット ポート チャネルと FCoE ポート チャネルから対応するメンバ ポートを削除し、新しいスタンドアロン ポートを作成します。
- ユニファイドアップリンク ポートとユニファイドストレージポートの場合、2 つのインターフェイスを作成するときは、1 つだけライセンスがチェックされます。 どちらかのインターフェイスが有効な限り、ライセンスはチェックされたままになります。 両方のインターフェイスがユニファイド アップリンク ポートまたはユニファイド ストレージ ポートでディセーブルの場合にのみライセンスが解放されます。

ポート モードの変更のデータ トラフィックへの影響

ポート モードの変更は、Cisco UCS ドメインのデータ トラフィックへの割り込みを引き起こす場合があります。 割り込みの長さや影響を受けるトラフィックは、Cisco UCS ドメインの設定およびポート モード変更を行ったモジュールに依存します。

ポート モード変更のクラスタ設定の固定モジュールへの影響

クラスタ設定には2個のファブリック インターコネクトがあります。 固定モジュールへのポート変更を行った後、ファブリック インターコネクトはリブートします。 データ トラフィックの影響は、1つのファブリック インターコネクトに障害が発生したときにもう一方にフェールオーバーするようサーバ vNIC を設定したかどうかに左右されます。

両方のファブリック インターコネクトの固定モジュールのポート モードを同時に変更すると、ファブリック インターコネクトによるすべてのデータ トラフィックが、ファブリック インターコネクトがリブートする約 8 分間中断されます。

ポート モード変更のスタンドアロン設定の固定モジュールへの影響

スタンドアロン設定にはファブリック インターコネクトが 1 つだけあります。 固定モジュールへのポート変更を行った後、ファブリック インターコネクトはリブートします。 ファブリック インターコネクトによるすべてのデータ トラフィックは、ファブリックインターコネクトがリブートする約 8 分間中断されます。

6324 ファブリック インターコネクトのポート モードの設定

注意 のポート モードを変更すると、データ トラフィックが中断されることがあります。これは、固定モジュールを変更するとファブリック インターコネクトのリブートが必要となり、。

Cisco UCS ドメインに、ハイ アベイラビリティ用に設定されたクラスタ構成が存在し、フェールオーバー用に設定されたサービス プロファイルを持つサーバが存在する場合、固定モジュールのポートモードを変更しても、トラフィックは他のファブリックインターコネクトにフェールオーバーし、データ トラフィックは中断されません。

手順

ステップ 1 [Navigation] ペインの [Equipment] タブをクリックします。

ステップ 2 [Equipment] タブで、[Equipment] > [Fabric Interconnects] > [*Fabric_Interconnect_Name*] を展開します。

ステップ 3 [Work] ペインの [General] タブをクリックします。

ステップ 4 [General] タブの [Actions] 領域で、[Configure Unified Ports] をクリックします。

ステップ 5 確認メッセージを確認し、次のいずれかをクリックします。

- [Yes]：ポート モードの設定を続行します。
- [No]：ポートモードを設定せずに終了し、適切なメンテナンス ウィンドウを待ちます。

ステップ 6 [Configure Fixed Module Port] ダイアログ ボックスで、マウスを使用して、モジュールに必要なポート モードの設定が表示されるまでバーに沿ってスライダをドラッグします。
以前設定されたポートのポート モードを変更すると、ポートは未設定の状態に戻ります。

ステップ 7 他のモジュールのポート モードを設定する必要がある場合は、ステップ 5 と 6 を繰り返します。

ステップ 8 ポート モードの設定を保存するには、[Finish] をクリックします。
ファブリック インターコネクトがリブートします。 そのファブリック インターコネクトを経由するすべてのデータ トラフィックが中断されます。 ハイ アベイラビリティが提供され、フェールオーバー用に設定された vNIC があるサーバが含まれるクラスタ構成では、トラフィックは他のファブリック インターコネクトにフェールオーバーし、中断は発生しません。

次の作業

ポートのポートタイプを設定します。 スライダの上に表示されるモジュールの任意のポートで右クリックして、そのポートに使用可能なポート タイプを設定できます。

サーバ ポート

サーバ ポートの設定

このタスクでは、ポートの設定方法を 1 つだけ説明します。 右クリック メニューから、または LAN アップリンク マネージャでも設定できます。

手順

ステップ 1 [Navigation] ペインの [Equipment] タブをクリックします。

ステップ 2 [Equipment] タブで、[Fabric Interconnects] > [*Fabric_Interconnect_Name*] > [Fixed Module] > [Ethernet Ports] を展開します。

ステップ 3 [Ethernet Ports] ノード下のポートをクリックします。

ステップ 4 [Work] ペインで、[General] タブをクリックします。

ステップ 5 [Actions] 領域で、[Reconfigure] をクリックします。

ステップ 6 ドロップダウン リストから [Configure as Server Port] を選択します。

アップリンク イーサネット ポート

アップリンク イーサネット ポートの設定

このタスクでは、アップリンク イーサネット ポートの設定方法を 1 つだけ説明します。 右クリック メニューからもアップリンク イーサネット ポートを設定できます。

手順

ステップ 1 [Navigation] ペインの [Equipment] タブをクリックします。

ステップ 2 [Equipment] タブで、[Equipment] > [Fabric Interconnects] > [*Fabric_Interconnect_Name*] を展開します。

ステップ 3 設定するポートのノードを展開します。

ステップ 4 [Ethernet Ports] ノード下のポートの 1 つをクリックします。
サーバ ポート、アプライアンスのポート、または FCoE ストレージ ポートを再設定する場合は、適切なノードを展開します。

ステップ 5 [Work] ペインで、[General] タブをクリックします。

ステップ 6 [Actions] 領域で、[Reconfigure] をクリックします。

ステップ 7 ドロップダウン リストから [Configure as Uplink Port] を選択します。

次の作業

必要に応じて、アップリンク イーサネット ポートのデフォルト フロー制御ポリシーおよび管理速度のプロパティを変更します。

アップリンク イーサネット ポートのプロパティの変更

手順

ステップ 1 [Navigation] ペインの [Equipment] タブをクリックします。

ステップ 2 [Equipment] タブで、[Equipment] > [Fabric Interconnects] > [*Fabric_Interconnect_Name*] を展開します。

ステップ 3 設定するポートのノードを展開します。

ステップ 4 [Ethernet Ports] ノードで、変更するアップリンク イーサネット ポートをクリックします。

ステップ 5 [Work] ペインの [General] タブをクリックします。

ステップ 6 [Actions] 領域で、[Show Interface] をクリックします。

ステップ 7 [Properties] ダイアログ ボックスで、次のフィールドに値を入力します。

a) （任意） [User Label] フィールドに、ポートを識別するためのラベルを入力します。

b) [Flow Control Policy] ドロップダウン リストからフロー制御ポリシーを選択し、受信バッファがいっぱいになった場合にポートが IEEE 802.3x ポーズ フレームを送受信する方法を決定します。

c) [Admin Speed] フィールドで、次のオプション ボタンの 1 つをクリックします。

- 1Gbps
- 10 Gbps

ステップ 8 [OK] をクリックします。

ファブリック インターコネクトのポートの再設定

手順

ステップ 1 [Navigation] ペインの [Equipment] タブをクリックします。

ステップ 2 [Equipment] タブで、[Equipment] > [Fabric Interconnects] > [*Fabric_Interconnect_Name*] を展開します。

ステップ 3 再設定するポートのノードを展開します。

ステップ 4 再設定するポートを 1 つ以上クリックします。

ステップ 5 [Work] ペインで、[General] タブをクリックします。

ステップ 6 [Actions] 領域で、[Reconfigure] をクリックします。

ステップ 7 ドロップダウン リストからポートの再設定方法を選択します。

例：アップリンク イーサネット ポートをサーバ ポートとして再設定する

1. [Ethernet Ports] ノードを展開し、再設定するポートを選択します。
2. 上記のステップ 5 および 6 を実行します。
3. ドロップダウン リストから [Configure as Server Port] を選択します。

ファブリックインターコネクトのポートのイネーブル化またはディセーブル化

ファブリックインターコネクト上でポートを有効または無効にした後、1分以上待ってからシャーシを再認識させます。 シャーシを再認識させるのが早すぎると、シャーシからのサーバトラフィックのピン接続が、有効または無効にしたポートに対する変更を使用して更新されないことがあります。

ポートが設定されている場合にのみ、イネーブルまたはディセーブルにできます。 ポートが設定解除された場合、イネーブルとディセーブルのオプションはアクティブではありません。

手順

ステップ 1 [Navigation] ペインの [Equipment] タブをクリックします。

ステップ 2 [Equipment] タブで、[Equipment] > [Fabric Interconnects] > [*Fabric_Interconnect_Name*] を展開します。

ステップ 3 イネーブルまたはディセーブルにするポートのノードを展開します。

ステップ 4 [Ethernet Ports] ノードで、ポートを選択します。

ステップ 5 [Work] ペインの [General] タブをクリックします。

ステップ 6 [Actions] 領域で、[Enable Port] または [Disable Port] をクリックします。

ステップ 7 Cisco UCS Manager GUI に確認ダイアログボックスが表示されたら、[Yes] をクリックします。

ステップ 8 [OK] をクリックします。

ファブリック インターコネクトのポート設定解除

手順

ステップ 1 [Navigation] ペインの [Equipment] タブをクリックします。

ステップ 2 [Equipment] タブで、[Equipment] > [Fabric Interconnects] > [*Fabric_Interconnect_Name*] を展開します。

ステップ 3 設定を解除するポートのノードを展開します。

ステップ 4 [Ethernet Ports] ノードで、ポートを選択します。

ステップ 5 [Work] ペインで、[General] タブをクリックします。

ステップ 6 [Actions] 領域で、[Unconfigure] をクリックします。

ステップ 7 Cisco UCS Manager GUI に確認ダイアログボックスが表示されたら、[Yes] をクリックします。

ステップ 8 [OK] をクリックします。

アプライアンス ポート

アプライアンスのポートは、直接接続されたNFSストレージをファブリックインターコネクトに接続するためだけに使用されます。

（注） 新しいアプライアンス VLAN を作成すると、IEEE VLAN ID は LAN クラウドに追加されません。 したがって、新しい VLAN に設定されたアプライアンスのポートは、ピン接続障害が原因でデフォルトでダウンしたままになります。 これらのアプライアンスのポートを起動するには、同じ IEEE VLAN ID を使用して LAN クラウドで VLAN を設定する必要があります。

アプライアンス ポートの設定

このタスクでは、アプライアンス ポートの設定方法を 1 つだけ説明します。 [General] タブからアプライアンス ポートを設定することもできます。

手順

ステップ 1 [Navigation] ペインの [Equipment] タブをクリックします。

ステップ 2 [Equipment] タブで、[Equipment] > [Fabric Interconnects] > [*Fabric_Interconnect_Name*] を展開します。

ステップ 3 設定するポートのノードを展開します。

ステップ 4 [Ethernet Ports] ノードで、ポートを選択します。
サーバ ポート、アップリンク イーサネット ポート、または FCoE ストレージ ポートを再設定する場合は、適切なノードを展開します。

ステップ 5 [Work] ペインで、[General] タブをクリックします。

ステップ 6 [Actions] 領域で、[Reconfigure] をクリックします。

ステップ 7 ドロップダウン リストから、[Configure as Appliance Port] をクリックします。

ステップ 8 Cisco UCS Manager GUI に確認ダイアログボックスが表示されたら、[Yes] をクリックします。

ステップ 9 [Configure as Appliance Port] ダイアログ ボックスで、必須フィールドに入力します。

ステップ 10 [VLANs] 領域で、次の手順を実行します。

a) フィールド で、次のオプション ボタンの 1 つをクリックしてポート チャネルで使用するモードを選択します。

- [Trunk]：Cisco UCS Manager GUI に VLAN テーブル表示され、使用する VLAN を選択することができます。
- [Access]：Cisco UCS Manager GUI に [Select VLAN] ドロップダウン リストが表示され、ポートまたはポート チャネルに関連付ける VLAN を選択できます。

いずれかのモードで、[Create VLAN] リンクをクリックして、新しい VLAN を作成できます。

（注） アプリケーション ポートでアップリンク ポートをトラバースする必要がある場合、LAN クラウドでこのポートによって使用される各 VLAN も定義する必要があります。 たとえば、ストレージが他のサーバでも使用される場合や、プライマリ ファブリック インターコネクトのストレージ コントローラに障害が発生したときにトラフィックがセカンダリ ファブリック インターコネクトに確実にフェールオーバーされるようにする必要がある場合は、トラフィックでアップリンク ポートをトラバースする必要があります。

b) [Trunk] オプション ボタンをクリックした場合は、VLAN テーブルの必須フィールドに入力します。

c) [Access] オプション ボタンをクリックした場合は、 ドロップダウン リスト から VLAN を選択します。

ステップ 11 （任意） エンドポイントを追加する場合は、[Ethernet Target Endpoint] チェックボックスをオンにし、名前と MAC アドレスを指定します。

ステップ 12 [OK] をクリックします。

アプライアンス ポートのプロパティの変更

手順

ステップ 1 [Navigation] ペインの [Equipment] タブをクリックします。

ステップ 2 [Equipment] タブで、[Equipment] > [Fabric Interconnects] > [*Fabric_Interconnect_Name*] を展開します。

ステップ 3 変更するアプライアンス ポートのノードを展開します。

ステップ 4 [Ethernet Ports] を展開します。

ステップ 5 プロパティを変更するアプライアンス ポートをクリックします。

ステップ 6 [Work] ペインの [General] タブをクリックします。

ステップ 7 [Actions] 領域で、[Show Interface] をクリックします。
すべてのフィールドを表示するには、[Properties] ダイアログ ボックスのスクロール バーの展開または使用が必要になる場合があります。

ステップ 8 [Properties] ダイアログボックスで、必要に応じて値を変更します。

ステップ 9 [OK] をクリックします。

FCoE およびファイバ チャネル ストレージ ポート

FCoE ストレージ ポートの設定

FCoE ストレージ ポートは、固定モジュールと拡張モジュールのどちらにも設定できます。

このタスクでは、FCoE ストレージ ポートの設定方法を 1 種類だけ説明します。 ポートの[General] タブから FCoE ストレージ ポートを設定することもできます。

はじめる前に

これらのポートが有効になるためには、ファイバ チャネル スイッチング モードが [Switching] に設定されている必要があります。 ストレージ ポートは、エンドホスト モードでは動作しません。

手順

ステップ 1 [Navigation] ペインの [Equipment] タブをクリックします。

ステップ 2 [Equipment] タブで、[Equipment] > [Fabric Interconnects] > [*Fabric_Interconnect_Name*] を展開します。

ステップ 3 設定するポートの場所に応じて、次のいずれかを展開します。

- Fixed Module
- Expansion Module

ステップ 4 [Ethernet Ports] ノード以下の 1 つ以上のポートをクリックします。
アップリンク イーサネット ポート、サーバ ポート、またはアプライアンス ポートを再設定する場合は、適切なノードを展開します。

ステップ 5 選択したポートを右クリックし、[Configure as FCoE Storage Port] を選択します。

ステップ 6 Cisco UCS Manager GUI に確認ダイアログボックスが表示されたら、[Yes] をクリックします。

ステップ 7 [OK] をクリックします。

アップリンク ファイバ チャネル ポートの復元

このタスクでは、アップリンク FC ポートとして動作する FC ストレージ ポートを復元する方法を 1 つだけ説明します。 そのポートの [General] タブから FC ストレージ ポートを再設定することもできます。

手順

ステップ 1 [Navigation] ペインの [Equipment] タブをクリックします。

ステップ 2 [Equipment] タブで、[Equipment] > [Fabric Interconnects] > [*Fabric_Interconnect_Name*] を展開します。

ステップ 3 [Expansion Module] ノードを展開します。

ステップ 4 [FC Ports] ノード以下の 1 つ以上のポートをクリックします。

ステップ 5 選択した 1 つ以上のポートを右クリックし、[Configure as Uplink Port] を選択します。

ステップ 6 Cisco UCS Manager GUI に確認ダイアログボックスが表示されたら、[Yes] をクリックします。

ステップ 7 [OK] をクリックします。

FCoE アップリンク ポート

FCoEアップリンク ポートは、FCoE トラフィックの伝送に使用される、ファブリック インターコネクトとアップストリームイーサネット スイッチ間の物理イーサネット インターフェイスです。このサポートにより、同じ物理イーサネット ポートで、イーサネット トラフィックとファイバ チャネル トラフィックの両方を伝送できます。

FCoEアップリンク ポートはファイバ チャネル トラフィック用のFCoEプロトコルを使用してアップストリームイーサネット スイッチに接続します。 これにより、ファイバチャネルとイーサネット トラフィックの両方が同じ物理イーサネット リンクに流れることができます。

（注） FCoEアップリンクとユニファイドアップリンクは、ユニファイドファブリックをディストリビューション レイヤ スイッチまで拡張することによりマルチホップ FCoE 機能を有効にします。

次のいずれかと同じイーサネット ポートを設定できます。

- **FCoE アップリンク ポート**：ファイバ チャネル トラフィック専用のFCoEアップリンク ポートとして。
- **アップリンク ポート**：イーサネット トラフィック専用のイーサネット ポートとして。
- **ユニファイド アップリンク ポート**：イーサネットとファイバ チャネル両方のトラフィックを伝送するユニファイド アップリンク ポートとして。

FCoE アップリンク ポートの設定

このタスクでは、FCoE アップリンク ポートの設定方法を 1 つだけ説明します。 アップリンク イーサネット ポートは、右クリックメニュー、またはポートの [General] タブから設定することもできます。

手順

ステップ 1 [Navigation] ペインの [Equipment] タブをクリックします。

ステップ 2 [Equipment] タブで、[Equipment] > [Fabric Interconnects] > [*Fabric_Interconnect_Name*] を展開します。

ステップ 3 設定するポートのノードを展開します。

ステップ 4 [Ethernet Ports] ノードの下の、[Unconfigured] ポートを選択します。

ステップ 5 [Work] ペインの [General] タブをクリックします。

ステップ 6 [Actions] 領域で、[Reconfigure] をクリックします。

ステップ 7 ドロップ ダウン オプションから、[Configure as FCoE Uplink Port] を選択します。

ステップ 8 Cisco UCS Manager GUI に確認ダイアログボックスが表示されたら、[Yes] をクリックします。

ステップ 9 Cisco UCS Manager GUI が成功のメッセージを表示します。
[Properties] 領域で、[Role] が [FCoE Uplink] に変わります。

ステップ 10 （任意）[Properties] 領域で、[VSAN] フィールドに [VSAN] を指定します。

ユニファイド アップリンク ポート

同じ物理イーサネット ポート上にイーサネット アップリンクと FCoE アップリンクを設定した場合、それらはユニファイド アップリンク ポートと呼ばれます。 FCoE またはイーサネット インターフェイスは個別にイネーブルまたはディセーブルにできます。

- FCoE アップリンクをイネーブルまたはディセーブルにすると、対応する VFC がイネーブルまたはディセーブルになります。
- イーサネット アップリンクをイネーブルまたはディセーブルにすると、対応する物理ポートがイネーブルまたはディセーブルになります。

イーサネットアップリンクをディセーブルにすると、ユニファイドアップリンクを構成している物理ポートがディセーブルになります。 したがって、FCoE アップリンクもダウンします（FCoE アップリンクがイネーブルになっている場合でも同様です）。 しかし、FCoE アップリンクをディセーブルにした場合は、VFC だけがダウンします。 イーサネット アップリンクがイネーブルであれば、FCoE アップリンクは引き続きユニファイド アップリンク ポートで正常に動作することができます。

ユニファイド アップリンク ポートの設定

次のいずれかから、ユニファイド アップリンク ポートを設定できます。

- 既存の FCoE アップリンクまたはイーサネット アップリンクのポートから
- 未設定のアップリンク ポートから

この手順では、既存の FCoE アップリンク ポートからユニファイドアップリンク ポートを設定する 1 つの方法について説明します。

手順

ステップ 1 [Navigation] ペインの [Equipment] タブをクリックします。

ステップ 2 [Equipment] タブで、[Equipment] > [Fabric Interconnects] > [*Fabric_Interconnect_Name*] を展開します。

ステップ 3 設定するポートのノードを展開します。

ステップ 4 [Ethernet Ports] ノードで、ポートを選択します。

ステップ 5 [Work] ペインの [General] タブをクリックします。

ステップ 6 [Properties] 領域で、[Role] が [FCoE Uplink] として表示されていることを確認します。

ステップ 7 [Actions] 領域で、[Reconfigure] をクリックします。

ステップ 8 ドロップダウン オプションから、[Configure as Uplink Port] を選択します。

ステップ 9 Cisco UCS Manager GUI に確認ダイアログボックスが表示されたら、[Yes] をクリックします。

ステップ 10 Cisco UCS Manager GUI が成功のメッセージを表示します。
[Properties] 領域で、[Role] が [Unified Uplink] に変わります。

ステップ 11 （任意）[Properties] 領域で、[VSAN] フィールドに [VSAN] を指定します。

ユニファイド アップリンク ポートの設定解除

ユニファイド アップリンク ポートから両方の設定を解除して削除できます。 または、FCoE ポート設定またはイーサネット ポート設定のいずれか一方を設定解除し、もう一方をポートに保持することができます。

手順

ステップ 1 [Navigation] ペインの [Equipment] タブをクリックします。

ステップ 2 [Equipment] タブで、[Equipment] > [Fabric Interconnects] > [*Fabric_Interconnect_Name*] を展開します。

ステップ 3 設定を解除するポートのノードを展開します。

ステップ 4 [Ethernet Ports] ノードで、設定を解除するポートを選択します。

ステップ 5 [Work] ペインの [General] タブをクリックします。

ステップ 6 [Actions] 領域で、[Unconfigure] をクリックします。 次のオプションのいずれかを選択します。

- Unconfigure FCoE Uplink Port
- Unconfigure Uplink Port
- Unconfigure both

ステップ 7 Cisco UCS Manager GUI に確認ダイアログボックスが表示されたら、[Yes] をクリックします。

ステップ 8 Cisco UCS Manager GUI に成功メッセージが表示されます。 選択した設定解除オプションに基づいて、[Properties] 領域の [Role] が変更されます。

ステップ 9 [Save Changes] をクリックします。

アップリンク イーサネット ポート チャネル

アップリンク イーサネット ポート チャネルを使用すると、複数の物理アップリンク イーサネット ポートをグループ化して（リンク集約）、1 つの論理イーサネット リンクを作成し、耐障害性と高速接続を実現できます。 Cisco UCS Manager で、先にポート チャネルを作成してから、そのポートチャネルにアップリンクイーサネットポートを追加します。 1つのポートチャネルには、最大で 8 個のアップリンク イーサネット ポートを追加できます。

（注） Cisco UCS では、ポート集約プロトコル（PAgP）ではなく、Link Aggregation Control Protocol（LACP）を使用して、アップリンク イーサネット ポートがポート チャネルにグループ化されます。 アップストリーム スイッチのポートが LACP に設定されていない場合、ファブリック インターコネクトはアップリンク イーサネット ポート チャネルの全ポートを個別のポートとして扱い、パケットを転送します。

アップリンク イーサネット ポート チャネルの作成

手順

ステップ 1 [Navigation] ペインの [LAN] タブをクリックします。

ステップ 2 [LAN] タブで、[LAN] > [LAN Cloud] を展開します。

ステップ 3 ポート チャネルを追加するファブリック インターコネクトのノードを展開します。

ステップ 4 [Port Channels] ノードを右クリックし、[Create Port Channel] を選択します。

ステップ 5 [Set Port Channel Name] パネルで、ID と名前を指定し、[Next] をクリックします。

ステップ 6 [Add Ports] パネルで、追加するポートを指定します。

（注） Cisco UCS Manager では、サーバ ポートとして設定済みのポートを選択した場合、警告が表示されます。 ダイアログボックスの [Yes] をクリックして、このポートをアップリンク イーサネット ポートとして再設定し、ポート チャネルに含めることができます。

ステップ 7 [Finish] をクリックします。

アップリンク イーサネット ポート チャネルのイネーブル化

手順

ステップ 1 [Navigation] ペインの [LAN] タブをクリックします。

ステップ 2 [LAN] タブで、[LAN] > [LAN Cloud] を展開します。

ステップ 3 イネーブルにするポートチャネルが含まれるファブリックインターコネクトのノードを展開します。

ステップ 4 [Port Channels] ノードを展開します。

ステップ 5 イネーブルにするポート チャネルを右クリックし、[Enable Port Channel] を選択します。

ステップ 6 Cisco UCS Manager GUI に確認ダイアログボックスが表示されたら、[Yes] をクリックします。

アップリンク イーサネット ポート チャネルのディセーブル化

手順

ステップ 1 [Navigation] ペインの [LAN] タブをクリックします。

ステップ 2 [LAN] タブで、[LAN] > [LAN Cloud] を展開します。

ステップ 3 ディセーブルにするポートチャネルが含まれるファブリックインターコネクトのノードを展開します。

ステップ 4 [Port Channels] ノードを展開します。

ステップ 5 ディセーブルにするポート チャネルを右クリックし、[Enable Port Channel] を選択します。

アップリンク イーサネット ポート チャネルのポートの追加および削除

手順

ステップ 1 [Navigation] ペインの [LAN] タブをクリックします。

ステップ 2 [LAN] タブで、[LAN] > [LAN Cloud] > [*Fabric*] > [Port Channels] を展開します。

ステップ 3 ポートを追加または削除するポート チャネルをクリックします。

ステップ 4 [Work] ペインの [General] タブをクリックします。

ステップ 5 [Actions] 領域で、[Add Ports] をクリックします。

ステップ 6 [Add Ports] ダイアログ ボックスで、次のいずれかを実行します。

- ポートを追加するには、[Ports] テーブルで 1 つ以上のポートを選択し、[>>] ボタンをクリックして [Ports in the port channel] テーブルにポートを追加します。
- ポートを削除するには、[Ports in the port channel] テーブルで 1 つ以上のポートを選択し、[<<] ボタンをクリックしてポート チャネルからポートを [Ports] テーブルに移します。

ステップ 7 [OK] をクリックします。

アップリンク イーサネット ポート チャネルの削除

手順

ステップ 1 [Navigation] ペインの [LAN] タブをクリックします。

ステップ 2 [LAN] タブで、[LAN] > [LAN Cloud] を展開します。

ステップ 3 ポート チャネルを削除するファブリック インターコネクトのノードを展開します。

ステップ 4 [Port Channels] ノードをクリックします。

ステップ 5 [Port Channels] ノードの [General] タブで、削除するポート チャネルを選択します。

ステップ 6 ポート チャネルを右クリックし、[Delete] を選択します。

アプライアンス ポート チャネル

アプライアンス ポート チャネルを使用すると、複数の物理的なアプライアンス ポートをグループ化して 1 つの論理的なイーサネット ストレージ リンクを作成し、耐障害性と高速接続を実現できます。 Cisco UCS Manager において、先にポート チャネルを作成してから、そのポート チャネルにアプライアンス ポートを追加します。 1 つのポート チャネルには、最大で 8 個のアプライアンス ポートを追加できます。

アプライアンス ポート チャネルの作成

手順

ステップ 1 [Navigation] ペインの [LAN] タブをクリックします。

ステップ 2 [LAN] タブで、[LAN] > [Appliances] を展開します。

ステップ 3 ポート チャネルを追加するファブリック インターコネクトのノードを展開します。

ステップ 4 [Port Channels] ノードを右クリックし、[Create Port Channel] を選択します。

ステップ 5 [Create Port Channel] ウィザードの[Set Port Channel Name] パネルで、必須フィールドにポート チャネルのアイデンティティ、およびその他のプロパティを指定します。
このパネルから LAN ピン グループ、ネットワーク制御ポリシーとフロー制御ポリシーを作成できます。

ステップ 6 [VLANs] 領域で、VLAN の [Port Mode] およびその他の情報を指定します。
このパネルから VLAN を作成できます。

ステップ 7 （任意） エンドポイントを追加する場合は、[Ethernet Target Endpoint] チェックボックスをオンにして名前と MAC アドレスを指定します。

ステップ 8 [Next] をクリックします。

ステップ 9 [Create Port Channel] ウィザードの [Add Ports] パネルで、追加するポートを指定します。

（注） Cisco UCS Manager 入力した設定によりサービス プロファイルまたはポート設定で問題が発生する場合は、警告が表示されます。 これらの問題が発生する可能性があってもポート チャネルを作成する場合は、ダイアログボックスで [Yes] をクリックできます。

ステップ 10 [Finish] をクリックします。

アプライアンス ポート チャネルのイネーブル化

手順

ステップ 1 [Navigation] ペインの [LAN] タブをクリックします。

ステップ 2 [LAN] タブで、[LAN] > [Appliances] を展開します。

ステップ 3 イネーブルにするポートチャネルが含まれるファブリックインターコネクトのノードを展開します。

ステップ 4 [Port Channels] ノードを展開します。

ステップ 5 イネーブルにするポート チャネルを右クリックし、[Enable Port Channel] を選択します。

ステップ 6 Cisco UCS Manager GUI に確認ダイアログボックスが表示されたら、[Yes] をクリックします。

アプライアンス ポート チャネルのディセーブル化

手順

ステップ 1 [Navigation] ペインの [LAN] タブをクリックします。

ステップ 2 [LAN] タブで、[LAN] > [Appliances] を展開します。

ステップ 3 ディセーブルにするポートチャネルが含まれるファブリックインターコネクトのノードを展開します。

ステップ 4 [Port Channels] ノードを展開します。

ステップ 5 ディセーブルにするポート チャネルを右クリックし、[Disable Port Channel] を選択します。

ステップ 6 Cisco UCS Manager GUI に確認ダイアログボックスが表示されたら、[Yes] をクリックします。

アプライアンス ポート チャネルのポートの追加および削除

手順

ステップ 1 [Navigation] ペインの [LAN] タブをクリックします。

ステップ 2 [LAN] タブで、[LAN] > [Appliances] > [*Fabric*] > [Port Channels] を展開します。

ステップ 3 ポートを追加または削除するポート チャネルをクリックします。

ステップ 4 [Work] ペインの [General] タブをクリックします。

ステップ 5 [Actions] 領域で、[Add Ports] をクリックします。

ステップ 6 [Add Ports] ダイアログ ボックスで、次のいずれかを実行します。

- ポートを追加するには、[Ports] テーブル で 1 つ以上のポートを選択し、[>>] ボタン をクリックして [Ports in the port channel] テーブル にポートを追加します。
- ポートを削除するには、[Ports in the port channel] テーブル で 1 つ以上のポートを選択し、[<<] ボタン をクリックしてポート チャネルからポートを [Ports] テーブル に移します。

ステップ 7 [OK] をクリックします。

アプライアンス ポート チャネルの削除

手順

ステップ 1 [Navigation] ペインの [LAN] タブをクリックします。

ステップ 2 [LAN] タブで、[LAN] > [Appliances] を展開します。

ステップ 3 イネーブルにするポートチャネルが含まれるファブリックインターコネクトのノードを展開します。

ステップ 4 [Port Channels] ノードを展開します。

ステップ 5 イネーブルにするポート チャネルを右クリックし、[Delete] を選択します。

ステップ 6 Cisco UCS Manager GUI に確認ダイアログボックスが表示されたら、[Yes] をクリックします。

ファイバ チャネル ポート チャネル

ファイバ チャネル ポート チャネルを使用すると、複数の物理ファイバ チャネル ポートをグループ化して（リンク集約）、1 つの論理ファイバ チャネル リンクを作成し、耐障害性と高速接続性

を実現できます。 Cisco UCS Manager で、先にポート チャネルを作成してから、そのポート チャネルにファイバ チャネル ポートを追加します。

各 Cisco UCS ドメインに最大 2 つのファイバ チャネル ポート チャネルを作成できます。 各ファイバ チャネル ポート チャネルには、最大 4 つのアップリンク ファイバ チャネル ポートを含めることができます。

ファイバ チャネル ポート チャネルの作成

手順

ステップ 1 [Navigation] ペインの [SAN] タブをクリックします。

ステップ 2 [SAN] タブで、[SAN] > [SAN Cloud] を展開します。

ステップ 3 ポート チャネルを作成するファブリックのノードを展開します。

ステップ 4 [FC Port Channels] ノードを右クリックし、[Create Port Channel] を選択します。

ステップ 5 [Set Port Channel Name] パネルで、ID と名前を指定し、[Next] をクリックします。

ステップ 6 [Add Ports] パネルで、ポート チャネルの管理速度を指定し、ポート チャネルにポートを追加します。

ステップ 7 [Finish] をクリックします。

ファイバ チャネル ポート チャネルのイネーブル化

手順

ステップ 1 [Navigation] ペインの [SAN] タブをクリックします。

ステップ 2 [SAN] タブで、[SAN] > [SAN Cloud] > [*Fabric*] > [FC Port Channels] を展開します。

ステップ 3 イネーブルにするポート チャネルをクリックします。

ステップ 4 [Work] ペインの [General] タブをクリックします。

ステップ 5 [Actions] 領域で、[Enable Port Channel] をクリックします。

ステップ 6 Cisco UCS Manager GUI に確認ダイアログボックスが表示されたら、[Yes] をクリックします。

ファイバ チャネル ポート チャネルのディセーブル化

手順

ステップ 1 [Navigation] ペインの [SAN] タブをクリックします。

ステップ 2 [SAN] タブで、[SAN] > [SAN Cloud] > [*Fabric*] > [FC Port Channels] を展開します。

ステップ 3 ディセーブルにするポート チャネルをクリックします。

ステップ 4 [Work] ペインの [General] タブをクリックします。

ステップ 5 [Actions] 領域の [Disable Port Channel] をクリックします。

ステップ 6 Cisco UCS Manager GUI に確認ダイアログボックスが表示されたら、[Yes] をクリックします。

ファイバ チャネル ポート チャネルのポートの追加および削除

手順

ステップ 1 [Navigation] ペインの [SAN] タブをクリックします。

ステップ 2 [SAN] タブで、[SAN] > [SAN Cloud] > [*Fabric*] > [FC Port Channels] を展開します。

ステップ 3 ポートを追加または削除するポート チャネルをクリックします。

ステップ 4 [Work] ペインの [General] タブをクリックします。

ステップ 5 [Actions] 領域で、[Add Ports] をクリックします。

ステップ 6 [Add Ports] ダイアログ ボックスで、次のいずれかを実行します。

- ポートを追加するには、[Ports] テーブル で 1 つ以上のポートを選択し、[>>] ボタン をクリックして [Ports in the port channel] テーブル にポートを追加します。
- ポートを削除するには、[Ports in the port channel] テーブル で 1 つ以上のポートを選択し、[<<] ボタン をクリックしてポート チャネルからポートを [Ports] テーブル に移します。

ステップ 7 [OK] をクリックします。

ファイバ チャネル ポート チャネルのプロパティの変更

（注） 2 つのファイバ チャネル ポート チャネルに接続する場合、両方のポート チャネルの管理速度が、使用するリンクに一致している必要があります。 いずれかまたは両方のファイバ チャネル ポート チャネルの管理速度が auto に設定されている場合、Cisco UCS が管理速度を自動的に調整します。

手順

ステップ 1 [Navigation] ペインの [SAN] タブをクリックします。

ステップ 2 [SAN] タブで、[SAN] > [SAN Cloud] > [*Fabric*] > [FC Port Channels] を展開します。

ステップ 3 変更するポート チャネルをクリックします。

ステップ 4 [Work] ペインの [General] タブをクリックします。

ステップ 5 [Properties] 領域で、次の 1 つ以上のフィールドの値を変更します。

名前	説明
[Name] フィールド	ポートチャネルに対して指定されたユーザ定義名。 この名前には、1 ～ 16 文字の英数字を使用できます。
[VSAN] ドロップダウン リスト	ポート チャネルに関連付けられた VSAN。
[Port Channel Admin Speed] ドロップダウン リスト	ポート チャネルの管理スピード。 ここに表示される値は次のとおりです。 • 1 Gbps • 2 Gbps • 4 Gbps • 8 Gbps • auto

ステップ 6 [Save Changes] をクリックします。

ファイバ チャネル ポート チャネルの削除

手順

ステップ 1 [Navigation] ペインの [LAN] タブをクリックします。

ステップ 2 [SAN] タブで、[SAN] > [SAN Cloud] > [*Fabric*] > [FC Port Channels] を展開します。

ステップ 3 削除するポート チャネルを右クリックし、[Delete] を選択します。

ステップ 4 Cisco UCS Manager GUI に確認ダイアログボックスが表示されたら、[Yes] をクリックします。

FCoE ポート チャネル

FCoE ポート チャネルでは、複数の物理 FCoE ポートをグループ化し、1 つの論理的な FCoE ポート チャネルを作成することができます。 物理レベルでは、FCoE ポート チャネルは FCoE トラフィックをイーサネット ポート チャネル経由で転送します。 したがって、一連のメンバから構成される FCoE ポート チャネルは基本的に同じメンバから構成されるイーサネット ポート チャネルです。 このイーサネット ポート チャネルは、FCoE トラフィック用の物理的トランスポートとして使用されます。

各 FCoE ポート チャネルに対し、Cisco UCS Manager は VFC を内部的に作成し、イーサネット ポート チャネルにバインドします。 ホストから受信した FCoE トラフィックは、FCoE トラフィックが FC アップリンクに送信されるのと同じ方法で VFC に送信されます。

FCoE ポート チャネルの作成

手順

ステップ 1 [Navigation] ペインの [SAN] タブをクリックします。

ステップ 2 [SAN] タブで、[SAN] > [SAN Cloud] を展開します。

ステップ 3 ポート チャネルを作成するファブリックのノードを展開します。

ステップ 4 [FCoE Port Channels] ノードを右クリックし、[Create FCoE Port Channel] を選択します。

ステップ 5 [Create FCoE Port Channel] ウィザードの [Set Port Channel Name] パネルで、ID と名前を指定し、[Next] をクリックします。

ステップ 6 [Create FCoE Port Channel] ウィザードの [Add Ports] パネルで、追加するポートを指定します。

ステップ 7 [Finish] をクリックします。

FCoE ポート チャネルの削除

手順

ステップ 1 [Navigation] ペインの [SAN] タブをクリックします。

ステップ 2 [SAN] タブの [SAN] > [SAN Cloud] > *[Fabric]* > [FC Port Channels] を展開します。

ステップ 3 削除するポート チャネルを右クリックし、[Delete] を選択します。

ステップ 4 Cisco UCS Manager GUI に確認ダイアログボックスが表示されたら、[Yes] をクリックします。

ユニファイド アップリンク ポート チャネル

同じ ID でイーサネット ポート チャネルと FCoE ポート チャネルを作成した場合、それらはユニファイド ポート チャネルと呼ばれます。 ユニファイド ポート チャネルが作成されると、指定されたメンバを持つファブリック インターコネクトで物理イーサネット ポート チャネルと VFC が作成されます。 物理イーサネット ポート チャネルは、イーサネット トラフィックと FCoE トラフィックの両方を伝送するために使用されます。 VFC は、FCoE トラフィックをイーサネット ポート チャネルにバインドします。

次のルールは、ユニファイド アップリンク ポート チャネルのメンバ ポート セットに適用されます。

- ユニファイド ポート チャネルとして設定されている、同じ ID のイーサネット ポート チャネルと FCoE ポート チャネルは、同じメンバ ポートのセットを持つ必要があります。
- イーサネット ポート チャネルにメンバ ポート チャネルを追加すると、Cisco UCS Manager は、FCoE ポート チャネルにも同じポート チャネルを追加します。 同様に、FCoE ポート チャネルにメンバを追加すると、イーサネット ポート チャネルにそのメンバ ポートが追加されます。
- ポート チャネルの 1 つからメンバ ポートを削除すると、Cisco UCS Manager は他のポート チャネルから自動的にそのメンバー ポートを削除します。

イーサネット アップリンク ポート チャネルをディセーブルにすると、ユニファイド アップリンク ポート チャネルを構成している物理ポート チャネルがディセーブルになります。 したがって、FCoE アップリンク ポート チャネルもダウンします（FCoE アップリンクがイネーブルになっている場合でも同様です）。 しかし、FCoE アップリンク ポート チャネルをディセーブルにした場合は、VFC だけがダウンします。 イーサネット アップリンク ポート チャネルがイネーブルであれば、FCoE アップリンク ポート チャネルは引き続きユニファイド アップリンク ポート チャネルで正常に動作することができます。

アダプタ ポート チャネル

アダプタ ポート チャネルは、Cisco UCS 仮想インターフェイス カード（VIC）から FI-IO モジュールへのすべての物理リンクを 1 つの論理リンクにグループ化します。

アダプタ ポート チャネルは、正しいハードウェアの存在を検出したときに Cisco UCS Manager によって内部的に作成また管理されます。 アダプタ ポート チャネルの手動設定はできません。 アダプタ ポート チャネルは、Cisco UCS Manager GUI または Cisco UCS Manager CLI を使用して参照できます

アダプタ ポート チャネルの表示

手順

ステップ 1 [Navigation] ペインの [Equipment] タブをクリックします。

ステップ 2 [Equipment] タブで、[Equipment] > [Chassis] > *[Chassis_Number]* > [Servers] > *[Server_Number]* > [Interface Cards] の順に展開します。

ステップ 3 アダプタ ポート チャネルを表示するアダプタをクリックします。

ステップ 4 [Work] ペインの [DCE Interfaces] タブをクリックします。

ステップ 5 アダプタ ポート チャネルの詳細を表示するには、[Port Channel] 列のリンクをクリックします。

Internal Fabric Manager を使用したサーバ ポートの設定

Internal Fabric Manager

Internal Fabric Manager は、Cisco UCS ドメインのファブリック インターコネクトにサーバ ポートを設定できる単一のインターフェイスを備えています。 Internal Fabric Manager には、そのファブリック インターコネクトの [General] タブからアクセスできます。

Internal Fabric Manager で行うことができる設定の一部は、[Equipment] タブ、[LAN] タブ、または LAN アップリンク マネージャのノードでも行うことができます。

Internal Fabric Manager の起動

手順

ステップ 1 [Navigation] ペインの [Equipment] タブをクリックします。

ステップ 2 [Equipment] タブで、[Equipment] > [Fabric Interconnects] > [*Fabric_Interconnect_Name*] を展開します。

ステップ 3 [Fixed Module] をクリックします。

ステップ 4 [Work] ペインで、[Actions] 領域の [Internal Fabric Manager] をクリックします。
別のウィンドウで Internal Fabric Manager が開きます。

Internal Fabric Manager を使用したサーバ ポートの設定

手順

ステップ 1 Internal Fabric Manager で、下矢印をクリックして [Unconfigured Ports] 領域を展開します。

ステップ 2 設定するポートを右クリックし、[Configure as Server Port] を選択します。

ステップ 3 Cisco UCS Manager GUI に確認ダイアログボックスが表示されたら、[Yes] をクリックします。

ステップ 4 Internal Fabric Manager で、すべてのタスクが完了したら、[OK] をクリックします。

Internal Fabric Manager を使用したサーバ ポートの設定解除

手順

ステップ 1 [Internal Fabric Manager] で、[Server Ports] テーブルのサーバ ポートをクリックします。

ステップ 2 [Unconfigure Port] をクリックします。

ステップ 3 Cisco UCS Manager GUI に確認ダイアログボックスが表示されたら、[Yes] をクリックします。

ステップ 4 Internal Fabric Manager で、すべてのタスクが完了したら、[OK] をクリックします。

Internal Fabric Manager を使用したサーバ ポートのイネーブル化

手順

ステップ 1 [Internal Fabric Manager] で、[Server Ports] テーブルのサーバ ポートをクリックします。

ステップ 2 [Enable Port] をクリックします。

ステップ 3 Cisco UCS Manager GUI に確認ダイアログボックスが表示されたら、[Yes] をクリックします。

ステップ 4 Internal Fabric Manager で、すべてのタスクが完了したら、[OK] をクリックします。

Internal Fabric Manager を使用したサーバ ポートのディセーブル化

手順

ステップ 1 [Internal Fabric Manager] で、[Server Ports] テーブルのサーバ ポートをクリックします。

ステップ 2 [Disable Port] をクリックします。

ステップ 3 Cisco UCS Manager GUI に確認ダイアログボックスが表示されたら、[Yes] をクリックします。

ステップ 4 Internal Fabric Manager で、すべてのタスクが完了したら、[OK] をクリックします。